

緑化優良工場等近畿経済産業局長賞受賞工場の功績概要

京セラ株式会社 滋賀野洲工場

所在地：滋賀県野洲市市三宅800番地

https://www.kyocera.co.jp/company/location_jp/map/group/kc/plants-yasu.html

業種：電子部品製造業

操業開始：2005年（平成17年）8月

資本金：115,703百万円 従業員数：1,820人（2021年4月）

受賞歴：2019年（令和元年）（一財）日本緑化センター会長奨励賞

- 京セラ株式会社滋賀野洲工場は、2010年（平成22年）に太陽電池セルの生産を開始し、同社の経営思想である「社会との共生、世界との共生、自然との共生」をすべての企業活動の基本に置き、豊かな調和を目指すとの考え方のもと、工場及び周辺立地環境を配慮した総合的な緑化計画を推進しつつ、様々な地球環境への対応活動を推進している。
- 工場中庭には琵琶湖を模した池（ビオトープ）が設置され、地域の淡水魚の育成や、試験的にホタルが生育可能な環境整備に取り組んでいる。また、滋賀県の木である「もみじ」の植栽に加え、直近で新たにキンカン、カキ、ビワ等の果樹を植林している。当該施設は生態系の保全や工場緑化に加え、社員の憩いの場所としても機能している。工場敷地周辺部の外周道路沿いにはクスノキやケヤキを配置し、周辺の住宅街や幼稚園、小学校側に多くの緑地を配置することで工場と周辺地域の調和を図っている。
- 生産施設屋上、正門屋上等に当該工場で生産している太陽光発電設備を設置しており、1号ビルロビー前には、当該発電設備によって発電された電力で稼働する自動芝刈り機を配置している。また、定置型リチウムイオン蓄電池を活用した国内初となる再生可能エネルギー「自己託送」の実証実験を開始し、地域と連携した持続可能なスマートシティ、地産地消のエネルギーネットワークの構築に取り組んでいる。
- 将来を担う子どもたちの環境意識の高揚と人間的成長を目的として、社員が講師として小学校へ赴き、太陽電池・蓄電池を題材とした「環境・エネルギー出前授業」を行っている。また、工場を地域住民へ開放した夏祭りの開催や、地域清掃への協力など、地域と一体となった環境活動にも積極的に取り組んでいる。

